

なんだ・かんだ

◆ 照 千 一 隅 ◆

先月号で、日本におけるアイバンク運動の創始者で、88歳の僧侶である講師の講演の話を書き方が、先日この方と長崎まで一緒にさせて頂く機会に恵まれました。そんな先生の話は今月も一つ書きます。

1200年前に伝教大師最澄が比叡山に人を育てる学校を開校しました。その学校の戒律(山家学生式)に

国宝何物	国宝とは何物ぞ
宝道心也	宝とは道心なり
有道心人	道心ある人を
名為国宝	名づけて国宝となす
故古人言	故に古人曰く
径寸十枚	径寸十枚(宝石10個)
非是国宝	国の宝ではない
照千一隅	一隅を照らす(身の回りを照らす)
比則国宝	これ即ち国宝なり

とあります。一隅(いちぐう)とは、今、自分が居るその場所です。個人個人が、自分の置かれている場所や立場で、ベストを尽くして照らして下さい。自分が光れば、お隣も光ります。町や社会が光ります。小さな光が集まって、日本を、世界を、やがて地球を照らします。一人ひとりが輝きあい、手をつなぐことができれば、みんなが幸せになり、すばらしい世界が生まれます。

ろうそくは自らの身を溶かし、身を焦がして周囲に光を与えます。同じように私共は人間に生まれたのですから、どれだけ長生きをして、その間、どれだけ周囲に光を及ぼすか、それによって人間の一生の評価が決まってくるのではないかと思います。どんなに偉い方でも最後は御骨になってしまいます。しかし、次の世代に何か残せばそれは生き続けることになります。次の世代に見せるべきモノがあるか、話すべきモノがあるか、伝えるべきモノがあるか。この三つの内どれか一つでも遺すことができたなら、立派なことですよ。——それが「一隅を照らす」という生き方につながっているのですね。

男子たる者後世に名を遺すことが本懐である。しかし死んで名を遺す程の力も実力もない。せめて子供の心に残ればと思いましたが、やはり何か自分でも出来ることをやらねばと考え出しました。何をやるかは見つかっていませんが、兎に角、今自分の置かれている立場で出来るだけの事をしようと思った次第です。



この所日本経済はいささか減速傾向にあるようです。サブプライムローン問題に端を発し世界同時株安の中、車の国内需要が減速、住宅着工は改正建築基準法の影響で大幅減、日銀も国内経済成長率の予測を下方修正しています。加えて消費税率見直し論が浮上して来ています。不安は尽きません。

しかしながら、先日より商工会議所の主催のセミナーに出ているのですが、私共のような中小企業のオーナーさんが多く、皆さん非常にお元気で前向きに勉強し、これから「やってやるぞ」という感じの方がたくさん居て元気づけられました。

プラス思考で前向きに。前進あるのみ。何もやらなければ結果は出ません。「頑張るぞ」「おー!」

代表取締役 服部 徹一郎

プラス思考で前進だ

社員紹介

● 田口 秀人 ●

今回は、営業グループの田口(57歳)の自己紹介です。

チキリ入社36年57歳平凡な親父です。家族構成は、妻と子供2人の4人家族で子供は娘2人なのですが、現在の風潮とでもいましょうかなかなか嫁に行く気配がありません。

まあ家族の事はこれ位にして、私が現在所属している部署についてお話しします。今私は営業部に属し、そのなかでも私の担当は静岡・内浦・西浦地区の魚の養殖業者さんに対しての営業を行っています。なにを営業しているかというと、養殖に欠かせない魚網の網染めをしてもらうよう営業に回っています。網染めといっても「何それ」と思われる方の為に少し説明すると、網を染めませんと夏場には貝類が、冬場には藻類などが網に付着し非常に汚れてしまいます。網が汚れると、中の魚が病気になるたり死んでしまいます。また、漁師さんが網を引き上げるのが非常に大変になります。その為汚れないように網染めをします。染める事により網を替える回数を少なくし尚且つ魚にストレスが溜まらない様にするものです。

私はこの様な仕事をしていますが、現在は魚の消費量が減少している様に思われます。そこで私からのお願いです、魚の消費量を増やす為にも魚は体に良いものですから魚をたくさん食べていただく様お願いして私の自己紹介とさせていただきます。



■ お知らせ ■

この度、同業者である東静塗料さんが10月一杯をもって廃業されます。ここにおいて東静塗料さんの社長様とお話をさせて頂き、長い間おつきあいさせて頂きました、お得意様につきまして、お許しいただければ同じ商品とサービスを弊社よりご提供させて頂くこととなりました。仕入先のメーカーさんにもご賛同頂き、また、11月以降数ヶ月は東静の社長様もスムーズに引き継ぎが出来るように協力して頂けることになりました。新しくお取引頂く皆様にはご迷惑をお掛けすることの無いように努めて参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社 チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/